

長崎大学病院DMATが出動しました

平成23年3月11日（金）に発生した東北地方太平洋沖地震の災害医療支援のため、長崎県の要請を受けて、長崎大学病院DMATが出動しましたので、お知らせします。

平成23年3月11日（金）に発生した東北地方太平洋沖地震の災害医療支援のため、同夕方には長崎県からの待機要請に基づきスタンバイを完了し、翌12日午前3時30分、長崎県の出動要請を受けて、長崎大学病院DMATが出動しました。

DMATとは、災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team)の頭文字をとって略して「ディーマツト」と呼ばれています。医師、看護師、その他の医療職員及び事務職員などで構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間)に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

出発後の状況は、次のとおりです。

○長崎大学病院DMATとして派遣した者

医師 山下和範(救命救急センター)

看護師 田平 直美(救命救急センター)

看護師 宮田 佳之(救命救急センター)

看護師 増山 純二(本院OB, 所属は他病院)

理学療法士 山下 正太郎

以上5名

○3月12日午前3時30分 長崎県からDMAT出動要請

午前6時 福岡空港から自衛隊機で出発

午前8時 茨城県百里基地に到着の後、宮城県霞目(かすみのめ)飛行場(仙台市若林区)に移動

現 在 霞目飛行場内のSCUで活動中

※SCU(Staging Care Unit)

SCUとは、広域搬送拠点に設置する搬送患者待機のための臨時医療施設であり、症状安定化のための処置・広域搬送のトリアージ等が実施される。また、SCUの医療スタッフはDMAT等で構成される。



職員に見送られて出動する長崎大学病院DMAT